

令和6年第2回  
周防大島町教育委員会会議 議事録（要点筆記）

- 1 日 時  
令和6年3月1日（金） 14時57分～16時25分
- 2 場 所  
東和総合センター2階 研修室2
- 3 出席委員  
星野教育長、國行委員、柏谷委員、大沼委員、清木委員
- 4 事務局出席者  
木谷教育次長、小泉総務課長、山根学校教育課長、木嶋社会教育課長、  
中村総務班長
- 5 欠席者  
なし
- 6 傍聴者  
なし
- 7 調整者書記  
中村総務班長
- 8 議事録署名委員の決定  
柏谷委員及び大沼委員
- 9 議題及び議事の概要、質問または討論をした者の職及び要旨
  - (1) 議案第1号 令和6年度周防大島町学校教職員人事について  
\*周防大島町教育委員会会議規則第13条により秘密会とする。  
  
教育長 議案第1号について承認いただけますか。  
委員 承認。
  - (2) 議案第2号 令和6年度周防大島町教育委員会当初予算について  
説明者：総務課長、学校教育課長、社会教育課長  
質疑・意見等  
(委員) スクールソーシャルワーカー派遣事業にスクールカウンセラーは含まれているかという質疑。  
(事務局) スクールカウンセラーは別事業となる旨説明。  
(委員) 他県で大量にタブレットを購入したが、発火して使い物にならなかったというニュースを聞いたが、本町のタブレットは買取りかリースかという質疑。  
(事務局) 買取りである旨説明。  
(委員) 故障し動作しなくなった時は代替品を無料で納入できるのかという質疑。

- (事務局) 故障した時のために修繕費を計上し、昨年度予算で余分に i p a d を購入している旨説明。
- (委員) 新規事業で海洋教育パイオニアスクール事業とあるが、これまでも B & G の様々な活動を行ってきた学校も 4 校あり、この新規事業の違いは、教職員のスキルアップを重視しているということかという質疑。
- (事務局) それぞれの学校で海に関する教育活動を行ってきたが、学校のカリキュラムに海に関する授業や教育活動を明確に位置付け、その一つに B & G と連携した教育活動等を組み込んでいく。新規に行うというよりカリキュラムに位置付けることが目的であり、これまでのことを継続して行う学校や実践校ではない学校も B & G と関われることもある旨説明。
- (委員) カリキュラムに位置付けていた学校は継続し、4 校のうち何校かは新規という形になるのかという質疑。
- (事務局) この事業は、地域を巻き込んで環境保全と地域活性化、観光を含め大きな視点で捉えている旨説明。
- (委員) 今までやっていたことと同じであれば、新規事業を増やすと学校も大変になるであろうと懸念する。これまでのことを継続し、さらに予算が付いたから教職員の指導力もアップできる機会が設けられるのかという質疑。
- (事務局) これまでも環境教育等を行ってきた学校やこれから行おうという学校 4 校が手を挙げてきたが、無理やりやってくれとお願いしたものではない。本事業には、従来行っていた教員の研究や派遣の補助金、B & G のマリンスポーツのイベントも 600 万円の中に組み込まれている。町が管理しているのは 400 万円であり、学校にそれぞれ 50 万円ずつ補助金を出し、自分たち主導で海や川、山での海洋教育を行う旨説明。
- (委員) 読書活動推進員の予算が挙がっているが、学校図書管理の現状は、推進員が片手間でやっている程度で週半日では図書の整理、選書や配架はできてないため、司書資格を持った学校司書を配置し読書活動を推進してもらいたいという要望。B & G プール改修事業が 3 億円となっているが、補助金が入ってもこれだけかかるということか。利用度はどれくらいかという質疑。
- (事務局) プール改修事業はポンプやろ過機、プール槽の改修だけでなく温水化改修も含めたものである。本施設は、日光が入らず真夏を除いては水温が上がりにくいいため、かねてから温水化の要望があり、このたび 1 億円の補助金を受け改修する。昨年の利用者は年間延べ 2,200 人であったが、7 月から 9 月の期間の数字であり、改修後は利用期間を延ばせるため利用者の増加は見込める旨説明。
- (委員) 学校司書は各校 1 名ずつぐらい免許を持った教員がいると思うがいかがかという質疑。

(事務局) 司書免許を持った教員を1校1名配置することが理想であるが、町内には3名程度しかおらず、全てに配置することは人事的にも困難であるため、研修や講習を受講してもらい司書免許取得を働きかけていく旨説明。

(委員) バリアフリーということでエレベーター設置のために改修工事があるが、文化交流センターの入口が自動ドアではないため検討してほしいという意見。

(委員) 昨年、健康管理センターのトイレの修理がかなりの日数かかったと思うが、体育館はスポーツ施設でもあり、災害が起こったときには避難場所になり得る施設でもある。災害はいつ起こるかわからないためすぐに対応できる予備費というものはないのかという質疑。

(事務局) 通常の維持管理に係る修繕費は各事業に組んでいるが、修繕に係る工事費が一定の額以上になると入札に付す必要がある。その設計工事費の補正予算を議会に提出し、工事費が確定したら工事の入札を行い着工するという過程があるため、健康管理センターは長い時間がかかってしまった旨説明。

(委員) 通学防犯対策事業の中でヘルメットを井型からジェット型にしてほしいと以前要望したがいかがかという質疑。

(事務局) 委員からの指摘を受け、来年度予算計上のため両中学校から意見を聴取したところ、大島中学校は通気性がよく軽量で安全性の高いものへの要望が多かったが、周防大島中学校については現行のもので進めており変更は難しいとのことであったため、令和7年度に向け前向きに検討していきたい旨説明。

教育長 議案第2号について承認いただけますか。

委員 承認。

## 10 議決事項

議案番号	内 容	議決結果	議決日
議案第1号	令和6年度周防大島町学校教職員人事について	承認	令和6年3月1日
議案第2号	令和6年度周防大島町教育委員会当初予算について	承認	令和6年3月1日

(教育長) 以上で、教育委員会会議を閉会します。